



ほ、元み

《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
1. 私達は自分の力で伸びて行こう
1. 私達は私達の規則を尊重しよう



《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療をいたします

新年のご挨拶

一般財団法人積善会 理事長 松尾 嘉禮



新年明けましておめでとうござい
ます。新しい年が皆様にとって良
い年になりますようお祈りいたし
ます。

昨年の事を振り返ってみると一年
を表す漢字に「災」が選ばれる程、
気候の激変、各地での豪雨被害、
世界経済の変調、社会現象の異常
な事態、例えばスポーツ界でのパ
ワハラ事件、高速道での煽り運
転事故等数え切れない事柄で
した。中でも愛媛県内の豪
雨災害は未曾有のことで、
被災された方々には心
からお見舞い申し上
げます。

さて今年も4
月に平成が終
ります。

わり、天皇陛下が代替わりされ、
5月から元号が変わります。M・T・
S・H以外の頭文字になるのでしよ
うが、今から期待でわくわくしま
す。書きやすく語呂の良い元号に
なるのでしょうか。

また今年の10月からは消費税が
10%に上がります。安倍総理は消
費の減速を心配してややこしい減
免措置を講じるようですが、徴収
する小売店などは余計に手間がか
かり、お困りになるのでは?と心
配しています。

医療費では患者さまには消費税
はかかりませんが、病院の支払い
には薬品、医療材料、給食食材に
は全部消費税がかかります。どん
な対応が為されるのかまだ何も決
まって無いようです。気がかりです。

さて、医学の世界では新しい技
術や、新しい薬が開発されて、治
療が困難であった病気に解決の道
が見えてきつつあります。昨今世
間では寿命100年時代になって
きたと言われていますが、近い将
来にはそうなるかも知れません。



単に命の延長でな
く、健康寿命(自立
して生活できる)の延
伸が望まれます。昨年の
データによると、全癌
(あらゆる癌全体)の5年生存
率はほぼ50%になったと言われ
ていますが、大腿骨骨折や背骨の
骨折を受傷した患者さんの5年生
存率は40%にも達しないと集計さ
れています。高齢化が進めば骨粗
鬆症の人口も増加してきますの
で、癌検診と共に骨密度検査も大
切と言われてきました。

十全総合病院では病気の治療だ
けでなく予防医療にも力を入れて
います。

健康チェックもお気軽にお問い
合わせください。

今年1年職員一致団結して、地
域医療に邁進していきます。

私たちは健康に暮らせる幸せを
享受したいものです。

皆様のご健康とご多幸を願って、
新年のご挨拶といたします。

発達障がいについて

こどもリハビリテーション室主任 藤井 雅之

近年マスコミなどにおいて、発達障がいという言葉をよく耳にするようになってきました。発達障がいをもつ子ども達の中には、見ると何ら障がいがないように見える子ども達もいます。しかし、先天性の脳機能(脳の働き)障がいがあると、身体機能・認知機能・言語機能・日常生活動作・社会的コミュニケーション・行動面など様々な課題を併せ持つことが多く決して軽い障がいではありません。

発達障がいの代表的な疾患として、不注意で落ち着きのない「注意欠如・多動症(ADHD)」、特定の学習だけがすごく苦手な「学習症(LD)」、人の付き合いが苦手な「こだわりが強い」「自閉スペクトラム症(ASD)」などが挙げられます。

平成24年に文部科学省が実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性がある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、何らかの発達障がいと疑われる児童生徒が約6.5%程度の割合で通常の学級に在籍している可能性があると調査結果が出されました。つまり、私たちの身近なところに支援や応援

を必要としている発達障がいをもつ子ども達がいるということが分かってきました。

平成28年4月には障がいのある人もない人も互いにその人らしさを認め合いながら共に生きる社会(共生社会)を実現することを目指すための「障害者差別解消法」が施行されました。社会の中で発達障がいをもつ子ども達も、広く世間に認知されてきたことで、地域の幼稚園や小学校への入園入学など様々なことにチャレンジできる機会が広がっているのを実感しています。子ども達の脳の発達には無限の可能性があります。

これからもこどもリハビリテーションを通して地域で生活している子ども達の発達を支援・心援しながら子ども達とともに成長・発達していきたいと考えています。



ほほえみ医療メト

地域公開講座 「排便障がいについて」

知っていますか？ 排便障がい

気持ちの良い排便を知ろう！を開催しました

平成30年10月28日(日)、イオンモ

ル新居浜において第2回地域公開講座を開催しました。今回は、午前・午後と2回講演させていただきました。約80名の皆様にお越しいただきました。講演の内容は以下の通りです。

【医師】
快適な排便とは何か、今一度考えてみよう

【放射線技師】
排便造影検査「デフェログラフィー」の説明

【薬剤師】
スッキリ解決！便秘のおくすりQ&A

【管理栄養士】
食事で快便にしよう！

【看護師】
快適なおしり環境で過ごそう

【理学療法士】
骨盤底筋運動で悩み解決
その他、今回も多くの企業の皆様に協賛をいただき、排便に関する商品の説明や展示、試供品の配布をし

ていただきました。

今年は、小さな子どもを連れて若いお母さんの姿も見受けられ、幅広い年齢層の方々が参加されました。アンケートでは、概ねの方に満足していただけであり、次回も参加したいと御意見をいただきました。また、「1日1回の排便では終わらない」、「便が出ない日が続く時、何日目くらいで薬を服用したらいいか、病院を受診したらいいか悩む」など排便についての悩みを抱えていることが分かりました。介護施設で勤務されている方からは、「グループホームで勤務しているが、便秘など主治医への相談の仕方が難しい」との悩みを知ることができました。来年度も、今回いただいたご意見を参考に、多くの皆様に良かったと言ってもらえる講演会を開催したいと思えます。

また、平成31年1月19日14時から15時まで、当院外来棟3階で【骨盤底筋フィットネス】を開催予定です。多くの皆様の参加をお待ちしております。

防災意識を高めよう

5病棟 白石 麻依

災害支援ナースというのをご存知ですか？

災害支援ナースとは、被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供すること、また、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えるよう努めることを任務とした看護師のことです。

2018年7月に西日本豪雨災害があり、災害支援ナース登録をしている私は被災地の避難所にて支援活動をしてきました。

みなさんは災害後に起こる二次被害をご存知でしょうか？環境汚染による感染症や、深部静脈血栓症などがあります。自宅へ生活ができないことにより、避難所や、車中での生活を余儀なくされる方が多い中、特に多い二次被害が深部静脈血栓症です。エコノミークラス症候群とも言われており、食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座つていて足を動かさないと、血行不良が起つて血液が固まりやすくなります。その結果、血の固まり(血栓)

血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発し最悪の場合死に至る恐れがあります(図1)。今回支援に行つた避難所でも、深部静脈血栓症のリスクが高い方が大勢おられました。

そこで、今回は少しでも防災意識を高めセルフケアができるよう、血栓症予防体操をご紹介します(図2)。

一番良いのは歩行することですが、この体操は座つたまままでできるので自動車や電車、飛行機などの乗り物に乗つている時にも対応できます。

○ 静脈血栓症を予防しよう

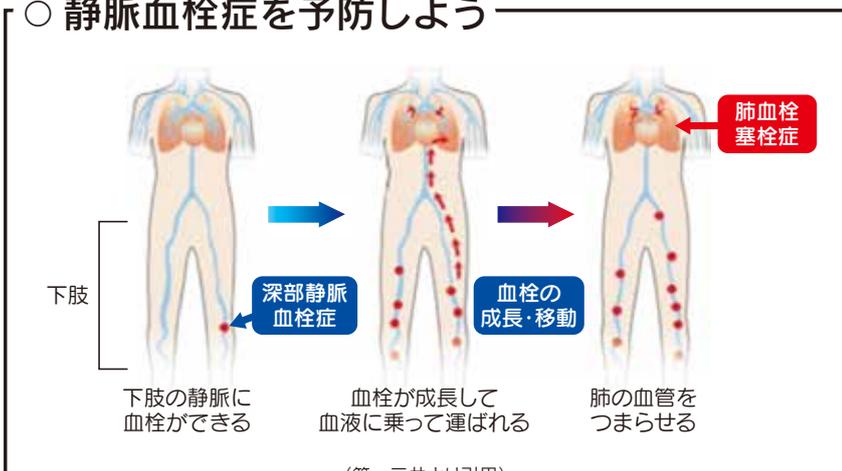


図1

できないことにより水分摂取を我慢される方がいますが、それは深部静脈血栓症のリスクを高めてしまいます。発災から物資の支給が開始されるまで3日間はかかるといわれています。そのため最低3日分の食料や水分の準備も普段から準備しておくといでしょう。

一人一人が防災を考え、行動することで、地域にも広がり被害を防ぐことができます。いつ、どこで起こるか

分らない災害に備え、少しずつでも準備をしていきませんか？



○ 予防のための足の運動



図2

《中高生が医学生と共に本格的医療体験!》

メディカルスクール2018 in 十全総合病院

H30.9.22 開催

MS2018実行委員長 松尾 真嗣

今回6回目の開催となるメディカルスクールは、「将来医師になりたい」「医療に携わりたい」という若者が増えること、また生徒自らが将来の進路を選定する時の一助になることを目的に行っています。

参加した中高生(25名)は高知大学・愛媛大学の医学生らと共に、本格的な医療模擬体験を行い、医療の実際を学びました。

今回は奄美大島からも医師が参加し、「身体のひみつ」と題して身体診察を生徒らにレクチャーしました。MS2018に参加した生徒が一人でも多く医療に興味を持っていただければ、それが私たち医療キャスト(72名)のこの上ない喜びです。



今年の体験

- 胃内視鏡検査 ○超音波検査 ○リハビリテーション ○メスを使った外科手術(異物摘出)
- 味わって考える! ドクター健康講座 ○縫合 ○整形外科関節鏡手術 ○身体のひみつ 等

今回募集した25名枠は受付開始から24時間でいっぱいになりました。メディカルスクールの認知度も高まってきたことを大変うれしく思っております。今後もこの活動を継続して地域に貢献していきたいと思っております。

第23回 十全公開糖尿病教室開催

薬局 高橋 佳子

平成30年11月7日(火)、今年も全国糖尿病週間にあわせて十全公開糖尿病教室が開催されました。

今年のテーマは「元気で長生き!!」とサルコペニア(筋力低下)を予防しよう」として、当院正面玄関ロビーにおいて講演2題と各種測定を行いました。

講演では、まず、野呂医師から「サルコペニアについて」のお話がありました。サルコペニアの定義や診断基準、介護など詳しい講演に、皆さん熱心に聴き入っていました。通りがかりの方も足を止めて耳を傾け参加されていました。次に佐々木理学療法士から「筋力低下と運動について」として加齢による虚弱状態、運動機能の低下、予防方法などのお話があり、簡単な体操(片足立ち、椅子からの立ち上がり、太もものストレッチなど)も行いました。参加者の皆さんは、かけ声に合わせて体を動かし、笑顔も多く見られました。

講演と並行して測定コーナーでは血圧、血糖、握力の測定を行い、たくさんの方が訪れていました。また、相談コーナーでは担当スタッフが、じっくりとお話をうかがい、患者さんは熱心に相談されていました。講演の後には希望者に対して

象に、10m歩行秒数測定や低い台からの立ち上がりが行われ、10m歩行では一人一人違ったスピードで元気に歩いていました。

当日は窓からさしこむ光が眩しいくらい気持ちのよい晴天で、参加者は50人程度で、「分かりやすかった」、「勉強になった」、「役に立った」という意見が多く寄せられました。

糖尿病サポートチームではこれからも、予防や治療の大切さを多くの方に知っていただけるように、楽しみながら日常生活に活かせる学びの場を提供し、そして、患者さんやご家族一人一人に合わせた支援を続けていきたいと思えます。



対外活動委員会 院外医療講演の報告

骨盤底筋を鍛えて、尿漏れ、便漏れ予防&食事で快便

2018年11月6日(火)13時半より、川西高齢者福祉センターにおいて『骨盤底筋を鍛えて、尿漏れ、便漏れ予防&食事で快便』と題して、近藤管理栄養科長と加藤理学療法士による院外医療講演を開催し、市民25名が参加されました。

便秘を改善するためには腸内環境を良好な状態に保つことが大切です。そのためには食物繊維やビフィズス菌、発酵食品をしっかりと摂ることが重要であると説明があり、日常生活で取り入れやすいメニューの紹介もありました。食事は身近なことであるため参加者に興味を持っていただけました。

またリハビリでは、イスに座ってできる骨盤底筋を鍛える運動をしましたが、難しかったという意見もありましたが楽しみながら、和やかな雰囲気での運動していただきました。

排便は毎日当然に行われる行為であり、そこに不便を感じると生活の質が低下します。この講演を通し市民の方々の楽な排便の一助になれば幸いです。



参加費無料
申込不要

糖尿病教室のお知らせ

日時 毎週水曜日 午後2:00～
場所 外来棟3階カンファレンスルーム

開催日	内容	担当
1/9(水)	運動療法の実際 新年の目標を立てよう	看護師
1/16(水)	検査のあれこれ 食事はどうしたらいいの?	臨床検査技師 管理栄養士
1/23(水)	ジェネリック薬ってなあに? もう怖くない低血糖 正しい対処法を知ろう	薬剤師 看護師
1/30(水)	カンパセーションマップ すぐろくのような地図を囲んで、糖尿病の知識や体験を話し合い、糖尿病について楽しく学びます	担当スタッフ
2/6(水)	食後高血糖に注意しよう 食物繊維をしっかりとろう	管理栄養士
2/13(水)	体調が悪い時はどうすればいいの? お薬を飲む時の注意点を知らう	看護師 薬剤師
2/20(水)	わたしにもできる運動ってあるの?	理学療法士
2/27(水)	聞いてみよう!透析療法のお話 腎症の検査あれこれ	臨床工学技士 臨床検査技師
3/6(水)	ほっとけないフットケア インスリン注射について聞いてみよう	薬剤師
3/13(水)	足を観察してみよう ～フットケア～ 嗜好食品は上手にとろう	看護師 管理栄養士
3/20(水)	運動について悩みはありませんか?	理学療法士
3/27(水)	すぐろくゲームで糖尿病を学ぼう	担当スタッフ

※都合により内容が変更になる場合があります。

病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いたします。 病院長

移動図書館 青い鳥号



来院予定日

- 1/9(水)
- 2/6(水)・20(水)
- 3/6(水)・20(水)

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

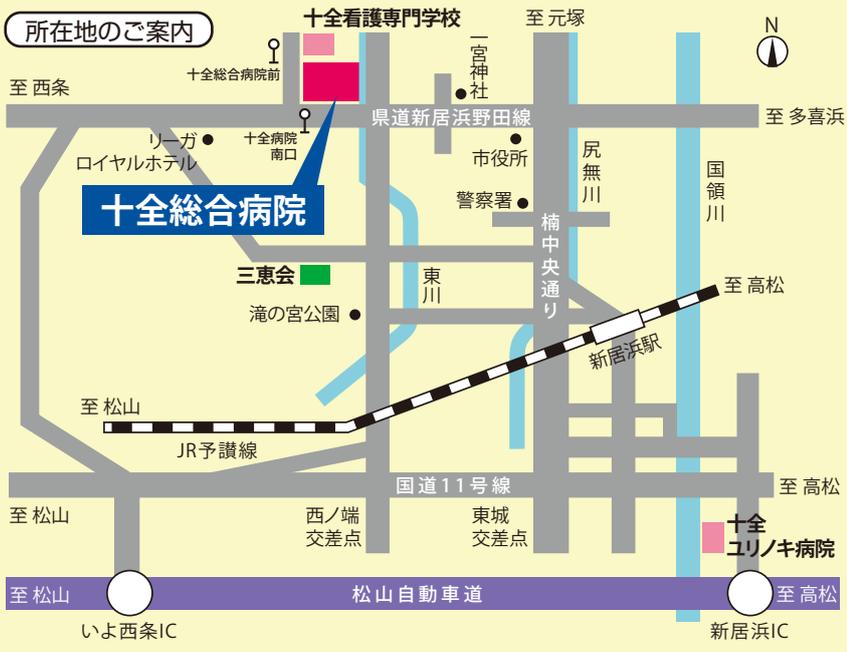
患者さまの権利

私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため、「患者さまの権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。



交通のご案内
 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分
 【駐車場完備 272台収容可能】
 《バス》瀬戸内バス……「十全総合病院前(広瀬→多喜浜線)」下車
 「十全病院南口(今治→マイントピア別子線)」下車
 《JR》JR予讃線……新居浜(にいほま)駅下車、タクシーで約10分

一般財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>



編集 広報誌編集活動委員会

医療・福祉 十全グループ

- 十全看護専門学校
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院
理学療法士、作業療法士の育成
校是【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全ユリノキ病院【精神科】
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話を行っています。
総合福祉施設 やすらぎの郷
介護老人福祉施設 ハートランド三恵
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘
介護老人保健施設 希望の館
障害者支援施設 三恵ホーム
児童福祉施設 十全保育園
児童福祉施設 中萩保育園
児童福祉施設 コミュニティハウス三恵
総合福祉施設 福社館 恵海
養護老人ホーム 新居浜市立慈光園

